

# 担い手通信



第45号  
令和6年3月発行

大仙市 農林部 農業振興課  
大仙市大曲花園町1番1号  
電話：0187-63-1111  
FAX：0187-62-9388

## 今回のラインナップ

- ★ 大仙農業元気賞表彰式並びに大仙市農業研修会を開催します!
- ★ スマート農業研修会を開催しました
- ★ RTK補正データ利用のための「GNSSデータサービス」申込のご案内
- ★ 令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されます
- ★ 理事変更（重任・再選）登記
- ★ 大仙市パソコン農業簿記講習会を開催しました
- ★ 収入保険に加入しませんか？

## 大仙農業元気賞表彰式並びに 大仙市農業研修会を開催します!

参加をご希望の方は、農業振興課または最寄りの各支所農林建設課へ令和6年3月12日(火)までお電話にて申込をお願いします。参加料は無料です。

- 日時：令和6年3月22日(金) 午後2時00分～午後4時30分
- 場所：神岡農村環境改善センター（大仙市神宮寺字下川原前開100番地）
- 内容：第16回 大仙農業元気賞表彰式  
受賞者：松本 光平さん（大曲地域）  
小松 瑞穂さん（中仙地域）  
土井 文智さん（仙北地域）

### 令和5年度 大仙市農業研修会

#### (1) 取り組み・成果報告

- ① 大仙市新規就農者研修施設令和5年度研修修了生 5名
- ② 大仙市農業者ビジネス塾受講生 2名

#### (2) 講演

- ① 「野菜作でのスマート農業技術について」  
講師：株式会社クボタ 担い手戦略推進部 技術顧問 菊池 昌彦 氏
- ② 「スマート農業の導入効果について」  
講師：秋田県農林水産部農林政策課 スマート農業推進監 川本 朋彦 氏

### 大仙農業元気賞とは

「革新的技術や新しい作目の栽培への取組等により成果を上げ、他の農業者の模範となっている」、「集落や地区内、各関係団体等においてリーダーシップを発揮している」、「将来の大仙市農業を牽引する農業者になり得る」原則50歳未満の若手農業者に対する市の表彰制度です。

### 大仙市×(株)クボタ×(株)秋田クボタ連携事業

## スマート農業研修会を開催しました

RTK基地局の活用を推進するため、今年2月16日に仙北ふれあい文化センターで、大仙市、仙北市、美郷町の法人等の参加によるスマート農業研修会を開催しました。

大仙市では昨年5月、西部地域にGPS等の衛星を用いたスマート農機の補正位置情報を配信するRTK基地局を設置し、東部地域には、秋田県仙北平野土地改良区が、受益エリアを大仙市東部、仙北市の一部、美郷町とするRTK基地局を設置し、今年4月からは、大仙市と仙北平野土地改良区受益地のほぼ全域でGPS位置補正情報の供用が開始される見通しとなっています。供用が開始されると、ロボットトラクターや農業用ドローン等、誤差数センチメートルでの作業の利用環境が整い、当地域農業の発展への大きな一歩となります。

研修会では、株式会社クボタによる「クボタの営農提案とRTK基地局活用の事例について」と題した講演や、「Jクレジットサービスについて」の説明のほか、西仙北地域の農事組合法人強首ファームの田村智宏さんによる「自動操舵システムを使った実証ほ場について」と題した大豆栽培の事例発表がありました。特に田村さんの発表は、RTK補正データを実際に活用した体験談ということで、参加者の皆さんは真剣に聞いていました。

### ～田村さんの発表より～

#### 【播種作業】

- ・自動操舵でハンドルから手を離しても真っすぐ走れるため、後ろの播種機に注意を向けながら走行することができ、発芽率・苗立ちが格段に良かった。また、精神的な疲労が激減した。(作業時間約2時間/ha・時速3km)

#### 【中耕培土】

- ・畝が真っ直ぐで条間が均等であるため培土の精度が格段に上がった。培土の量を調整しながら走行できるため、やり直しはほぼ無かった。(作業時間約45分/ha・時速5～7km)

#### 【気になる点、注意する点】

- ・電子機器の設定が複雑。
- ・GPS信号が途切れた際にアラートが鳴るが、作業機械の音で気づきにくい。
- ・操作に慣れが必要のため練習が必要。
- ・作業の精度が高い分、作業機械の設定をしっかりと行う必要がある。

#### 【令和5年産大豆】

平均単収 約260kg/10a (26ha)  
大粒64% 中粒26.3% 小粒4% 屑5.7%  
荷受け重量84t 製品重量69t 製品率82%

※RTK基地局の補正データ利用申込方法は裏面をご覧ください。

# RTK補正データ利用のための「GNSSデータサービス」申込のご案内

補正データを用いることで、衛星等を活用した高精度の位置情報を利用することが可能となります。利用には、「①RTK補正データ対応の農業機械、②スマートフォン、③GNSSデータサービスのライセンス（26,400円/年（税込み）」が必要になります。

③の申込先は以下のとおりで、申込書は、株式会社秋田クボタ、大仙市農業振興課、各支所農林建設課に準備してあります。

(1) 申込書類： 大仙市・仙北市・美郷町 GNSS データサービス申込書（兼発行通知書）

(2) 申込先： 株式会社秋田クボタ営農推進部（郵送・FAX・直接提出）

〒011-0901

秋田市寺内字神屋敷 295-38

FAX 018-853-4335・TEL 018-853-7576

※市からの申込も可能です。

(3) その他： 株式会社クボタ以外のメーカーの農機具等でデータサービスを利用する場合も、申込先は上記となります。



詳しくはこちら

## 令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されます

相続登記の申請の義務化が令和6年4月1日から始まりますが、それ以外の相続でも、不動産（土地・建物）の相続登記がされていないものは義務化の対象となります。それぞれのケースに応じ、相続人（遺族）で、必要な遺産分割を行い相続登記を行うことが重要です。

Q1. 不動産（土地・建物）の相続登記が義務化されるのは、なぜですか？

A1. 相続登記がされていないため、登記簿を見ても所有者が分からない「所有者不明土地」が全国で増加し、周辺環境悪化や公共工事の阻害など社会問題になっています。この問題解決のため、令和3年に法律が改正され、これまで任意だった相続登記が義務化されます。

Q2. 相続登記の義務化はどのような内容ですか？

A2. 相続人は、不動産（土地・建物）を相続で取得したことを知った日から3年以内に相続登記をすることが法律上の義務で、法務局に申請する必要があります。正当な理由がないのに相続登記をしない場合、10万円以下の過料が科せられる可能性があります。遺産分割の話し合いで不動産を取得した場合も、別途、遺産分割から3年以内に登記をする必要があります。

詳しくは、秋田地方法務局（電話：018-862-1174）へお問い合わせください。

## ～農事組合法人の皆さん、忘れずに！～ 「理事変更（重任・再選）登記」

農事組合法人は、その設立登記の後、①名称、②事務所所在地、③理事の氏名・住所、④事業内容、⑤地区、⑥出資1口金額、⑦公告の方法、⑧出資口数、⑨払込済出資総額のいずれかに変更があった場合、変更登記を行わなければならないことが農業協同組合法（農協法）で定められており、①から⑦については事由発生後2週間以内、⑧及び⑨については事業年度終了後4週間以内に登記しなければなりません。

このうち、③「理事の氏名・住所」については、定期総会時の役員交代に伴って特に変更が生じやすい部分であり、理事が交代して別の方になった場合はもちろん理事変更の登記が必要ですが、理事が重任（再選）となった場合も、その都度登記が必要となります。

理事全員が再選された場合でも、「通常総会終了とともに任期を迎え一旦退任し、改めて理事として選任された」と解釈されるため、変更登記（重任・再選登記）が必要となります。この登記を怠った場合、農協法の規定に基づいて役員が過料に処される場合がありますので、ご注意ください。

## 大仙市パソコン農業簿記講習会を開催しました

大仙市パソコン農業簿記講習会を今年1月10日に秋田県農業共済組合仙北支所で開催しました。講習では、パソコン農業簿記ソフト（ソリマチ株式会社「農業簿記12」）を使用し、日々の記帳入力から税金申告の決算処理まで実習を行いました。また、税務署の職員の方より、青色申告と税務申告に係るポイントや令和5年10月から開始されているインボイス制度（適格請求書等保存方式）等についてご説明いただきました。

市では今後も本講習会を開催していく予定ですので、時期が近付きましたら市広報でお知らせします。

## 収入保険に加入しませんか？

「収入保険」は、青色申告を行っている農業者（個人・法人）が加入できる保険制度で、自然災害・ケガや病気・倉庫の浸水・盗難や運搬中の事故・市場価格の低下など農業者の経営努力では避けられない収入減少を補てんする仕組みです。

「収入保険」の詳細内容は、NOSAIまでご相談下さい。

※「収入保険」に加入するためには、青色申告を行っている必要があります。青色申告は「正規の簿記」の場合は55万円（優良な電子帳簿の要件を満たす場合は65万円）、「簡易な方式」の場合は10万円を所得から控除することが可能です。

秋田県農業共済組合 仙北支所  
電話 0187-63-1066